

飯山照丘高等学校 校歌

作詞 峯村 文人
作曲 月岡 弘一

(一) 風雪に 耐^たふる樹木^{じゅもく}の

いつか 厳^{いづか}しき 息吹^{いぶ}きを浴^あびて

はぐくみし 創造^{そうぞう}の夢^{ゆめ}

胸^{むね}に秘^ひめ われら集^{つど}へり

みすずかる 信濃^{おくだ}の奥^{おく}処^ど

光満^{みつみ}つ おお照丘 照丘

(二) 青雲^{あおぐも}に 立てる鍋倉

朝夕^{あさゆふ}の 心^{こころ}の掟^{おきて}

志^し いや高くして

ひとむきに われら学^{まな}ばむ

美^{うつく}しき 未来^{みらい}に駆^かくる

希望^{きぼう}呼^よぶ おお照丘 照丘

(三) 末^{すえ}遠^{とお}く 激^{たぎ}つ千曲^{せんきよく}よ

青春^{せいしゆん}の 命^{いのち}の鏡^{かがみ}

情熱^{じやうねつ}を 炎^{えん}と抱^{かか}き

たゆむなく われら進^{すす}まむ

とこしへの 真理^{しんり}求^{もと}めて

誇^ほりあり おお照丘 照丘